

NPO法人 京都市肢体障害者協会

# 令和6年度 事業計画

## ◎定期総会

【日程】 4月19日(金)

【場所】 洛南身障会館

## ◎福祉研修会

【日程】 8月4日(日)

【場所】 からすま京都ホテル

## ◎体幹機能訓練

【日程】 9月中旬予定

【場所】 未定

## ◎第1回スクエアポッチャ大会

【日程】 11月4日(月・祝)

【場所】 京都市障害者教養文化体育館(予定)

## ◎新春のつどい

【日程】 令和7年2月2日(日)

【場所】 未定

## ◎広報事業

『きょうと身障の福祉』を年4回発行

## ◎コーラス部活動

施設訪問やイベント等に出演

## ◎ほほえみ交流活動支援事業

文化教養部会のメンバーを中心に、京都市内の小・中学校等で講演と車椅子体験授業を行い、障害者の理解と共生社会の啓発を行う

## 関係団体事業予定

### ○軽スポーツ事業

↳スクエアポッチャ

【日程】 4月13日(土)

【場所】 障害者スポーツセンター

### ○第69回日本身体障害者福祉大会

【日程】 中止

【場所】 中止

### ○第44回全京都障害スポーツ大会

\*総合開会式・卓球バレー大会

【日程】 6月23日(日)

【場所】 島津アリーナー京都

\*ポッチャ大会

【日程】 7月15日(月・祝)

【場所】 伏見港公園体育館

\*卓球大会

【日程】 7月21日(日)

【場所】 障害者スポーツセンター

\*水泳大会

【日程】 8月18日(日)

【場所】 障害者スポーツセンター

\*陸上大会

【日程】 9月8日(日)

【場所】 たけびしスタジアム京都

発行日 令和6年4月1日  
発行所 〒601-8321 京都市南区吉祥院西成町35  
京都市洛南身体障害者福祉会館内  
NPO法人  
京都市肢体障害者協会  
TEL 672-3615  
一部20円



## 俳句

波の花  
曾々木海岸  
きえさりし  
勝山圭子

### ○交通局との意見交換会

【日程】 11月頃

【場所】 サンサ右京

### ○「障害者週間」市民啓発事業

【日程】 11月30日(土)

【場所】 各区主要ターミナル

### ○「障害者週間」市民啓発事業

【日程】 未定

【場所】 未定

### ○第2回ふれあいスクエアポッチャ大会(仮称)

【日程】 12月3日(日)

【場所】 障害者スポーツセンター

### ○京都市障害者相談員研修会

【日程】 令和7年1月下旬

【場所】 未定

### ○天皇杯第36回全国車いす駅伝競走大会

【日程】 令和7年3月9日(日)

【場所】 出発・国立京都国際会館前  
閉会式・京都市体育館

## 令和5年度

### ほほえみ交流事業



- 七条第三小学校 ○藤城小学校
- 音羽小学校 ○大将軍小学校
- 山階小学校 ○松ヶ崎小学校
- 桂東小学校 ○第三錦林小学校
- 伏見住吉小学校 ○境谷小学校
- 中京中学校 ○大枝中学校
- 陵ヶ岡小学校 ○吉祥院小学校
- 四条中学校 ○桃山小学校







# 「死ぬまでにやりたい事」とは……

前田 美智子

昨年の秋、ハートピアで恒例の「地域福祉の集い」が開催されて、この日も「最高の人生の見つけ方」と題した意義のある映画を鑑賞しました。

私は現在82才。終活の始動現状にある中で、主人公の2人の女性が「幸せだった」と言い切れる時を過ごそうとの自覚に目ざめて、挑戦の日々を積み重ねる姿に感銘を受けました。

末期ガン患者の2人が、同じ病棟の若い女の子の残した小さなノートを偶然にも手にした事で人生観を大きく変化させたのです。女の子が記した「死ぬまでにやりたい事」の十項目には、命を惜しむ切なさが溢れて……。

特に「ウェディングドレスを着たい」との夢には胸を打たれた。若い頃、私もずっと夢を見て来ました。一生に一度、花嫁衣装を着てみたいと。

そして、誰か一人だけ一緒に暮らしたいと思える人に巡り合わせ



て欲しいと。神様にその声が届いたのか、思い掛けない出来事が生じたのです。

当時、十年間を交際していたあの人が結婚を決意してくれて、何と、身長135センチ、日本一小さな花嫁姿を実現可能にしました。4才年下の健常者だったあの人が、急に浮上したお見合い話に。家族の後押しが強さにも負けず、障害者の私を選んでくれた事への感謝で、両手一杯の幸せが到来した感じでした。

世の中がハワイブームに沸いていた頃で、憧れの地への夢は膨らみ、それも、あっさり実現した。予約した結婚式場が、ハワイ旅行と拳式をセットにしたキャンペーン中だったので、限定50組に入る幸運に恵まれたのです。

昭和55年、日本中が山口百恵・三浦友和の結婚ブームの最中、私達も便乗するかのようになり、ジューンブライドでホノルルへ向けて飛び立ちました。

しかし、それがいつの間にか夢や、幸せが指先からこぼれ落ちて行き、7年目に心を通わせ合った二人の

17年間は消え去ったが、この写真は私の夢を本当にした貴重なもの。あの日の感激と感動は今もなお、アルバムの中で輝いています。映画では、若い頃に結婚式が出来なかった

専業主婦(吉永小百合)と、無口で無骨な夫が娘と息子に祝福されて、純白のウェディングドレスに身を包み教会で晴れの姿を。若い女の子の夢を果たしたように、輝く主婦の自信に満ちた表情が印象的でした。

そして、女社長(天海祐希)とこの主婦がこの世を去った数年後、社長の事業だった開発ロケットが打ち上げられる日、社長と主婦の名前を冠したロケットが大空高く宇宙へと飛び立った。

2人の女性が小さなノートからヒントを得て、最高の人生を見つけようとした生き方は、女の子の夢を乗せて……。彼女の十項目の最後が「宇宙に飛び立ちたい」とありましたから。もう私には夢を持つ事も、語る事もなくなりました。

老齢化の進む日々は健康に留意し、つつがなく暮らせる事に感謝です。

でも、このままでは淋し過ぎる。せめて、夢の中のまた夢であつても、少しは夢の世界があればと思う気持ちになります。毎年、1月1日にNHKで放映される「ニューイヤークンサート」で私の心はウィーンへ!

オーストリアのウィーンで華やかな音楽と舞踊で新年を祝う行事ヨハン・シュトラウスの聖地で、彼の残した名曲がウィーン交響楽団で演奏されて、画面には美しい舞踊が繰り広げられて……。

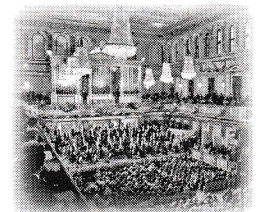
演奏会の終りが近づくと学友会

ホールに紳士・淑女が一齐に手拍子を打ち、心を一つにしてポルカを楽しむ。私もあの席に一度座りたい。



## 鉄道唱歌(替え歌) 我ら人生60から

- 一、我ら人生60から  
心も体も元気に  
70で迎えに来たならば  
ただいまお留守と言いなさい
- 二、我ら人生60から  
いつもここに朗らかに  
80で迎えに来たならば  
まだまだ早いと言いなさい
- 三、我ら人生60から  
何も不足は言いません  
90で迎えに来たならば  
そんなにせくなと言いなさい
- 四、我ら人生60から  
いつも感謝で暮らします  
100で迎えに来たならば  
ころみて行くよと言いなさい
- 五、我ら人生60から  
まだまだひよっこ未熟者  
希望に満ちて夢いっぱい  
生きる喜びありがとさん  
生きる喜びありがとさん





# 「四苦八苦」を考える！

松坂義之助

四苦八苦は、お釈迦様が苦しみを以下の8つにわけて教えられたものである。

- ・生苦（生まれる苦しみ）
- ・老苦（老いる苦しみ）
- ・病苦（病の苦しみ）
- ・死苦（死ぬ苦しみ）
- ・愛別離苦（愛するものとの別れによる苦しみ）
- ・怨憎会苦（恨み憎しみを感ずる人と会わなければならない苦しみ）
- ・求不得苦（求めてもえられない苦しみ）
- ・五蘊盛苦（煩惱が盛んが故に苦しむ）

初めの4つ（生老病死）を四苦といい、他の4つと合わせて四苦八苦という。

若い頃は、四苦にのみこだわりの、後半の4つは知ってはいたものの実感はなかった。

しかし還暦を迎え、愛別離苦、怨憎会苦を痛感する機会が多くなった。まず実感したのが、怨憎



会苦。会いたくない人ほど会う機会が多くなる苦しみ。大人気ない態度も

取れないが、側に居るだけで不快になり、ストレスが溜まる。ひどい時は名前を聞いただけでイライラする。これが、怨憎会苦なのだ。一方で、愛別離苦。年齢と共に大切な家族や先輩・仲間が居なくなる。四苦の中の、病・老・死によるものだが、本人の苦だけでなく、周囲の者にとっても苦である事に気付いた。そしてそのすべてが、生苦からうまれてくるのだと理解できる。これまで何故生まれる事が苦なのか理解できなかったが、森羅万象すべてが生から始まり、すべての苦が生によって生み出されていると考えるならば、生苦の意味も自ずと解ってくる。

また、生苦にはもう1つの考え方も出来るのではないだろうか。新生児が全員健康で産まれてくるとは限らず、また家庭的に恵まれ

た環境下で産まれてくるとも限らない。むしろ何らかの問題を抱えて産まれて来る方が多いのかも知れない。そしてそれは本人や家族の、苦（苦勞）を意味しており、それを乗り越えて生きていく事が修行（この世にうまれてきた意味）なのではないだろうか。障害者権利条約で、社会的モデルという言葉で障害の原因を社会構造による物だとしているが、深層心理学では、親を選んで産まれて来るという実験結果もあり、「乗り越えられない苦勞を神は与えない」という言葉も満更宗教的表現とも言い切れないだろう。だからこそ、自らが選んで産まれてきた生苦から逃避し条約や法律を盾に他力本願な権利主張は本来人間が持つて生まれた、四苦八苦に反する考えだと言える。

話を、愛別離苦、怨憎会苦に戻すと、これらを克服するには、自我を捨てるしかないのだが、それが容易くできないのが人間の性である。これが、五蘊盛苦。これを自覚するから、また、苦（苦勞）

を生み出す。人間とは厄介なものである。愛別離苦、怨憎会苦を素直に受け入れ、一喜一憂せずに「生きてるだけで丸儲け！ 所詮この世は浮き世の世界。なるようになる」と考えられれば良いのだが……。かく言う小生も誰かの、怨憎会苦の対象になっていいると思えば、お互い様って事になるようだ。ただ、誰からも、愛別離苦を感じて貰えない人間にはなりたくないものである。

尚、ペンネーム、松坂義之助は筆者が尊敬する松下幸之助氏から名乗った名前である。



**Quiz 脳トレクイズ**

**問題**

今年3月に開催された第35回「車いす駅伝競走」の優勝チームはどこですか？

1. 福岡Aチーム
2. 大阪Aチーム
3. 京都Aチーム
4. 大分Aチーム

**応募方法**

①クイズの答え ②住所 ③氏名 ④電話番号 ⑤今月号広報紙の意見・感想 ⑥必ず官製ハガキにてお願い致します。

正解者には、抽選で3名様に図書カード1,000円分をお送りします。

締切り 6月10日 (消印有効)

〒601-8321 南区吉祥院西定成町55 洛南身障福祉会館内 肢体障害者協会クイズ係

●前回の答えは、「3. 満98歳」でした。応募総数7通。当選者は、賞品の発送をもって発表にかえさせていただきます。

**家族葬は 公益社へ**

0120-004-200

いつでもお電話ください 24時間受付

ブライトホール

公益社WEBサイト